

【公開 I】 7年2組 美術科学習指導案

南舎4階 美術室 岡田 春香

1 題材名 岐阜天井画～もし、令和の時代に加納城が甦ったら～

2 指導の立場

(1) 題材について

全国の寺社仏閣や城に天井画が描かれてきた。見上げると広がる美しい世界。日本独特の木造建築の強度を増すために縦横に巡らされた梁。梁に囲まれた小さなキャンバスが、絢爛豪華な空間を生み出す。日本人が古来より親しんできた草花などが描かれ、西洋の天井画とは異なる魅力を醸し出す。

織田信長が天下統一の拠点とした岐阜城内にも豪華な天井画があったとされている。その下で信長は、心を尽くし客人をもてなしたのだろう。徳川の時代になり、城主を失った岐阜城天守閣は、加納の地に移された。その後、火災により消失し姿を消す。現在、金華山にそびえる岐阜城復興天守閣の天井画には、大河ドラマとタイアップした麒麟と龍が描かれ、戦国の時代とは異なる資料展示館の役割も担いながら訪れる観光客を楽しませている。

本校から南の方角に加納城はあった。もし、今の時代に加納城が甦ったとしたら？もし、加納城にも天井画があったとしたら？本題材は、架空の「令和の加納城」を想定し、岐阜天井画をデザインする。学習指導要領A表現(1)イ(ア)(イ)に関わって、岐阜県の魅力となる「もの」や「こと」を中心に描き、背景には、伝統文様を効果的に組み合わせる。見やすいように単純化し、大きさや配置を考えながら見る人にとって分かりやすく美しい調和のとれた構成を考える。着色には、アクリル絵の具を用い、自然の色をもとにした固有の色使いや色彩の効果を結び付けながら表現する。

(2) 児童生徒について

①教科横断的な学び

生徒は、家庭科の「衣文化」の題材で日本の伝統文様について学んだ。浴衣の着付け体験では、洋服にはない布地に染め上げられた和の文様の鮮やかさと調和のとれた美しさに引き込まれていた。また、「どう生きるか」の学習で、何度か加納城址公園を訪れており、そこへの馴染みがある。さらには6年生での「町づくり」において、加納地区の伝統行事を守る方の思いや和傘などの伝統工芸品にふれ、岐阜への郷土愛や伝統文化の魅力を感じている。こうした教科や領域で学んだ郷土・伝統への愛情を図画工作や美術で身につけた力と結び付けながら、思いを発信する力につなげたい。

②図画工作から美術へ

生徒は、初めてデザイン題材に取り組む。図画工作の学習では、自分の好きな形や色で思いを楽しく表現してきたが、デザインや工芸などに表現する活動では、相手を大切に思う視点が必要となる。伝える相手にとって、必要な情報なのか、だれが見ても分かりやすい内容となっているか考えていく必要がある。そこで、岐阜天井画を鑑賞する相手を岐阜県外に住む人、海外から訪れる人など具体的に想定することで、多様性や共生の視点をもたせながら個人としての感じ方や好みにとどまるのではなく、身近な人をはじめ誰にも共通して感じる感覚や心地よさを感じ取る力を養っていきたい。

(3) 本時の指導について

本時は、特にA表現(1)イ(イ)に関わって、主題がより相手に伝わるように、背景の文様とモチーフの組み合わせ方を考える。タブレット端末も活用しながら、構成を練り直し考えを深める。また、作品を指し示しながら説明し合う活動を設定し、一方的な伝達とならないよう、相手に対する視点を持ち、互いの作品のよさを味わったり、認め合ったりできるようにする。

3 題材指導計画

学年	第7学年	題材名	岐阜天井画～もし、令和の時代に加納城が甦ったら～（全13時間） 「A表現」（1）イ（ア）（イ）（2）ア（ア）（イ）、「B鑑賞」（1）ア（イ）、「共通事項」（1）アイ
題材で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、余白や単純化などが感情にもたらす効果を理解し、造形的な特徴などをもとに全体の作風を捉える。〔知識及び技能〕 ・アクリル絵の具の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序を考えながら見通しをもって表す。〔知識及び技能〕 ・岐阜天井画の目的をもとに主題を生み出し、美的感覚を働かせ分かりやすさと美しさの調和を考え、表現の構想を練る。〔思考力、判断力、表現力等〕 ・天井画の目的と調和のとれた美しさを感じ取り、作者の心情や表現意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。〔思考力、判断力、表現力等〕 ・美術の創造活動の喜びを味わい、天井画の目的や機能などを考えて、表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組む。〔学びに向かう力、人間性等〕 			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	岐阜天井画の題材について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・天井画や参考資料などを鑑賞しながら、仲間と対話することを通して、天井画の装飾としての効果や用いる場面、条件を理解し、題材への興味と作品へのイメージをもつことができる。 ・加納城の想像図を描くことができる。 		天井画の機能や調和のとれた美しさを感じ取り、天井画の目的や機能などを考え表現したり鑑賞したりする学習活動に関心をもっている。〔主体的に学習に取り組む態度〕
② ③	岐阜天井画の構成要素を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の願いや思いをもとに、既習事項と結びつけながらマッピングする活動を通して、中心となるモチーフと背景となる文様を選択し、アイディアスケッチを描くことができる。 		これまでの生活経験や学習したことの中から、相手に伝えたい岐阜の魅力を感じる「もの」や「こと」と、伝統文様のもつ意味とを結びつけながら表現したいことを考えている。〔思考・判断・表現〕
④ 本時	アイディアスケッチをして構成を練る。 <ul style="list-style-type: none"> ・選んだモチーフと背景となる文様の構成を考える活動を通して、大きさや配置などの違いによる表現効果に気付き、分かりやすさと美しさの調和を考え、モチーフと文様を効果的に組み合わせることができる。 		大きさや配置の違いによる表現効果を理解し、より分かりやすく美しいモチーフと背景の文様の効果的な構成を考えている。〔思考・判断・表現〕
⑤	下書きをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル絵の具で彩色することを意識しながら、アイディアスケッチをもとに下書きをすることができる。 		既習事項である、アクリル絵の具の使い方や特性と結びつけながら、下書きをしている。〔知識・技能〕

⑥	<p>配色計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩などが感情にもたらす効果を理解し、色の性質を使って表現した資料を通して、作品全体の印象が異なることに気付き、自分の作品のイメージと色をつなげながら配色計画をすることができる。 	<p>形や色彩などが感情にもたらす効果を理解し、自然の色をもとにした固有色の良さや色の性質や効果と自分の作品のイメージとつなげて配色計画をしている。[知識・技能]</p>
⑦ ⑫	<p>配色計画を基に彩色をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配色計画に沿って、絵の具の特性を理解して効率のよい順序を考えた彩色を行い、全体と部分のバランスを考えながら、見やすさや細部の描き込み、形と形の境目の仕上げに着目して描くことができる。 	<p>配色計画に沿って、彩色の順序や効率のよい順序を考えた彩色を行い、見やすさや細部の描き込み、形と形の境目の仕上げに着目して描いている。[知識・技能]</p>
⑬	<p>鑑賞交流会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 天井に映し出された自他の作品を鑑賞することを通して、表現の意図と工夫などに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。 	<p>自他の作品を鑑賞し、心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げ、デザインの工夫、色の性質や感情効果を基に表現のよさや美しさを感じ取り、学習記録にまとめている。[思考・判断・表現]</p>

題材で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿

問題解決力	<p>題材への見通しと、作品への願いをもち、単位時間ごとに課題意識をもって試行錯誤を繰り返し自己決定しながら取り組む姿。 他教科での学びと結びつけ発想や構想を深めたり、アクリル絵の具の特性を生かし表現方法を工夫し彩色したりする姿。</p>
関係構築力	<p>仲間との対話的な活動を通して、作品を指し示しながら自分の思いを伝えたり、仲間の作品の造形的なよさや美しさを認め合ったりする中で、表現意図や工夫を感じ取ったり、作品を見直したり表現を深める姿。</p>
貢献する人間性	<p>他者に対する心遣いを大切に、個人としての感じ方や好みにとどまらず、身近な人たちに共通に感じる感覚や心地よさを理解し、自然や生活環境、日用品、衣服類に見られる形や色の美しさを感じ取り、周囲との調和を考えながらよりよいものを追求する姿。</p>

自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て

問題解決力	<p>制作工程に合わせて、発想を広げるためや表現を深めるための参考作品や資料、生徒のつまづきを解決するための比較資料などを提示し、生徒が課題意識をもちながら取り組めるようにする。発言や作品、学習記録の中の表現意図の深まりから見届ける。</p>
関係構築力	<p>交流する視点を持ち、表現したものを基に互いの思いを伝え合う対話的な活動を設定し、新たな見方、感じ方に気付き、客観的な見方や捉え方について考えたりできるようにする。交流の様子や発言、学習記録の変容から見届ける。</p>
貢献する人間性	<p>日本の伝統的な装飾、表現様式や美意識について意図的に取り上げ、自分たちの身の回りにある構成や装飾のよさや面白さ、生活を楽しくしようとする美意識があることに気付くことができるようにする。</p>

4 教科にかかわる本時のねらい

選んだモチーフと背景となる文様の構成を考える活動を通して、大きさや配置などの違いによる表現効果に気付き、分かりやすさと美しさの調和を考え、モチーフと文様を効果的に組み合わせることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕

5 本時の展開（4/13）

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>1 前時の振り返りをして、本時の課題につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭科でいいなと思った文様とモチーフを配置してみた。でも、どちらが主役か分からない。 「どう生きるか」で調べた和傘と雨の文様を合わせたい。和傘を目立たせるにはどうしたらいいか。 モチーフが動いているように見せたい。動きを出すにはどうするといいたろうか。 <p>2 参考作品から、本時の課題をもつ</p> <div data-bbox="174 619 573 912" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔主題〕夏の夜、長良川に鶺舟が現われると辺りの空気が一変した。パチパチと音を立て川面に揺れる篝火。鶺と鶺匠の緊迫したやりとり。伝統を守ってきた者の気概と重さを感じさせる。そんな鶺飼の雰囲気表現したい。</p> <p>〔構成〕川面、篝火の反射、鶺、鶺匠、鶺舟の調和のとれた表現にしたい。</p> </div> <div data-bbox="584 619 788 834" style="display: inline-block; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="618 834 748 887" data-label="Caption"> <p>青海波 〈文様の意味〉</p> </div> <div data-bbox="797 619 1001 834" style="display: inline-block; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="792 834 981 887" data-label="Caption"> <p>流水紋 〈文様の大きさ、量〉</p> </div> <div data-bbox="1010 619 1214 834" style="display: inline-block; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1023 861 1211 887" data-label="Caption"> <p>〈モチーフの大きさ〉</p> </div> <div data-bbox="1223 619 1426 834" style="display: inline-block; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1236 861 1397 887" data-label="Caption"> <p>〈モチーフの位置〉</p> </div> <div data-bbox="174 938 1357 979" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>背景の文様とモチーフの大きさ、向き、配置を工夫してより主題が伝わる構成を考えよう。</p> </div> <p>3 構成の仕方を追求する</p> <ul style="list-style-type: none"> 文様を小さくしてみたら、モチーフとの差がついて見やすくなった。 文様の量を減らして、和傘を大きくしてみたら目立つようになった。 モチーフを中心からずらして配置してみたら、遠近感が出て動きが出た。明るく華やかにしたいから全体的に色を明るくしたらどうだろう。 <p>4 本時の振り返りを行い、次時への課題をもつ（個人→全体交流）</p> <div data-bbox="174 1299 1429 1442" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文様の特徴的な部分だけを使うことにしたら見やすくなったと思う。モチーフを斜めにして、角度をつけたことで、迫力が増して堂々とした雰囲気が出た。伝えたいことがより伝わるようになったと思う。次からは、どんな色を塗っていくと効果的か考えていきたい。</p> </div>	<p>（●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文様とモチーフの大きさや向き、配置を工夫することにより、作品の印象が変わることに気付く資料提示を行う。生徒の発言から、本時工夫する造形的な視点（大きさ、向き、位置など）を板書に位置付ける。 ●○大きさ、向き、配置などを試したり、配色を考えたりしながら、構成を練ることができるようにするために、タブレット端末を活用するとよいことを伝える。 ●○全体交流を通して、学習の成果を実感し、次時への見通しをもつ。 <div data-bbox="1473 999 2069 1184" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>主題を強く表現するために試行錯誤し、自己決定しながら発想や構想を深めている追求の姿を見届ける。（問題解決力）</p> </div> <div data-bbox="1473 1241 2069 1426" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価規準】</p> <p>大きさや配置の違いによる表現効果を理解し、より分かりやすく美しいモチーフと背景の文様の効果的な構成を考えている。</p> <p style="text-align: right;">[思考・判断・表現]</p> </div>